

横浜市公共基準点の座標値を改定します

横浜市では、昭和 57 年から公共基準点を学校の建物屋上や歩道に設置しています。

これは、道路の境界確定、都市計画道路事業に伴う図面作成、開発等に伴う道路の寄付等の測量の基準として使用するもので、国土交通省国土地理院と協議して設置作業を行い、高い精度を持っています。

平成 23 年 3 月の東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）により東日本地域は大きく地殻が変動しました。これにより、基準点の現位置と管理している座標値に不整合が生じたため、国土地理院が各自治体に基準点の再測量や再計算を行うよう通知していました。

横浜市域でも平均約 17 センチメートルの地殻変動があったため、平成 23 年度から横浜市公共基準点を再観測・再計算することにより座標値の補正を行ってきましたが、この度、新しい成果「世界測地系（測地成果 2011）」が確定しました。

これにより、公共基準点の現位置と座標値の不整合が解消され、正確な測量成果が得られることとなります。

この新しい成果を、平成 25 年 10 月 15 日から道路調査課及び各区土木事務所の道路台帳閲覧システムで公開し、今後、道路台帳の補正は新しい成果を使用して作業します。

【概要】

平成 23 年度

一次基準点： 569 点（再観測）

平成 24 年度

二次基準点： 4,525 点（一部再観測、再計算）

境界点：約 62 万点（補正計算）

費用：約 2 億円

横浜市公共基準点

一次基準点



二次基準点



一次基準点

一番基準となる点で、約 1.5 キロメートル毎に設置されています。

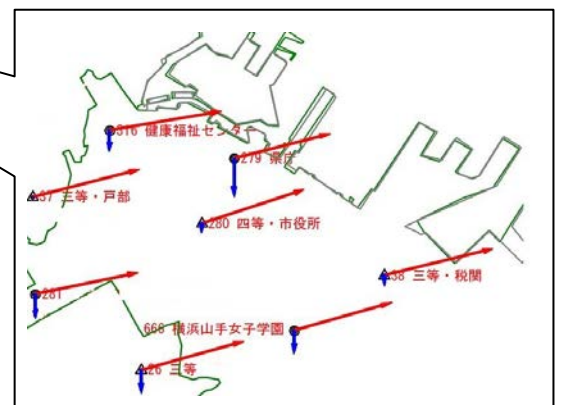
二次基準点

一次基準点を基に設置した点で、約 750 メートル毎に設置されています。

公共基準点移動比較（震災前後）



拡大図



- 世界測地系
電波観測や人工衛星観測を活用し、世界共通に使用できる測量の基準系です。
- 世界測地系（測地成果 2011）
今回のように改定した測量成果を、他の測量成果と区別してこのように表現します。

お問い合わせ先

道路局道路調査課長 細谷 宗史 Tel 045-671-2744